

経営比較分析表（平成29年度決算）

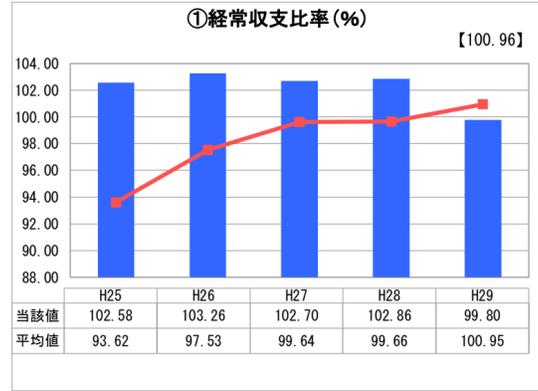
福井県 あわら市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.98	3.31	70.80	2,754

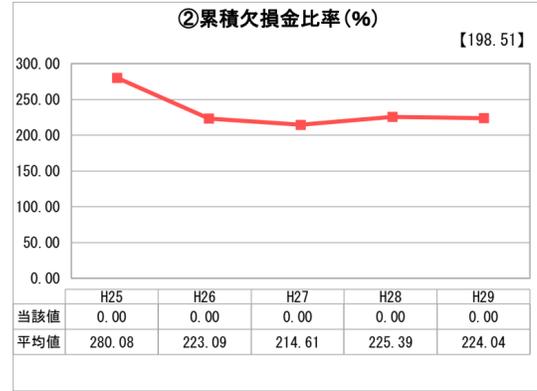
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,564	116.98	244.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
942	0.60	1,570.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

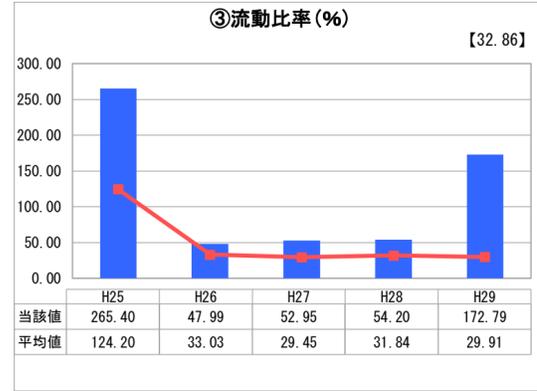
1. 経営の健全性・効率性



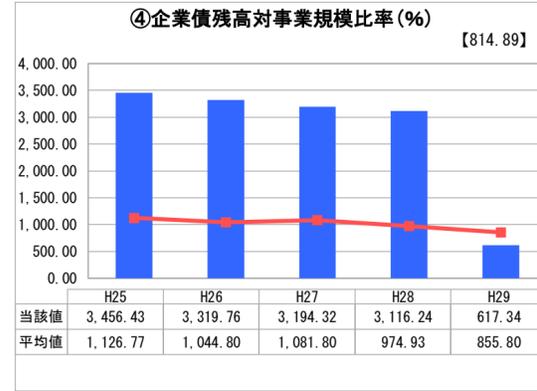
「経常損益」



「累積欠損」



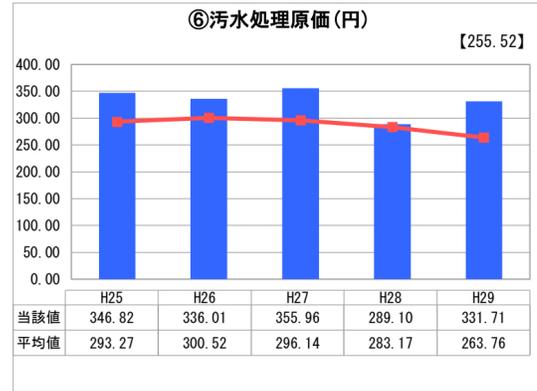
「支払能力」



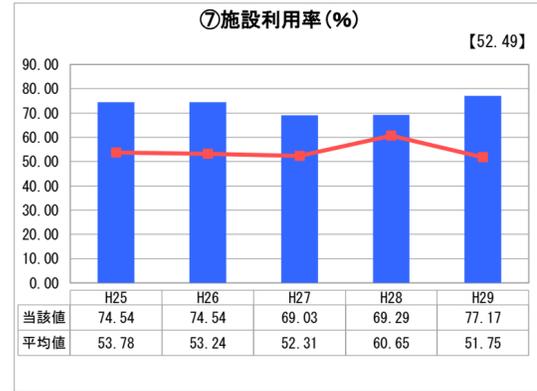
「債務残高」



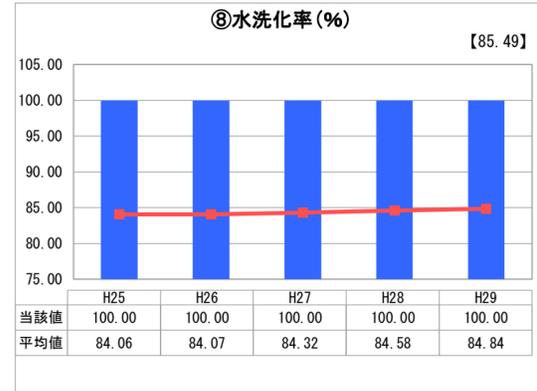
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

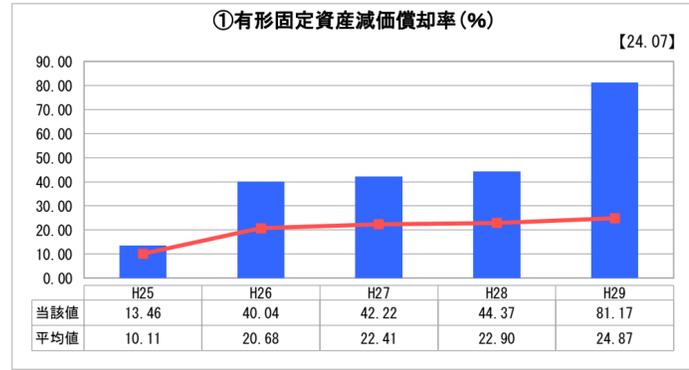


「施設の効率性」

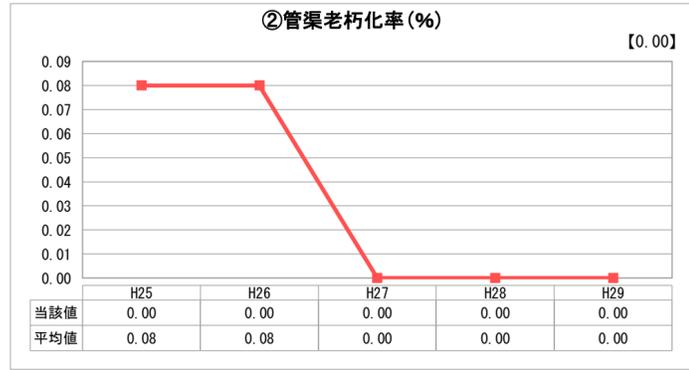


「使用料対象の捕捉」

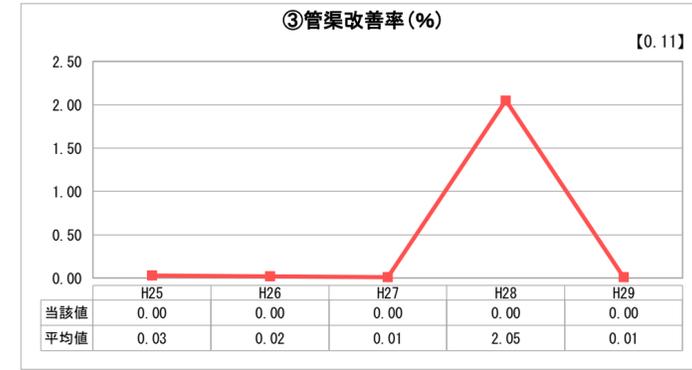
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は黒字を示しているが、一般会計から赤字補てん分の補助金を繰り入れることで収支の均衡を図っている。
- ② 累積欠損金比率は、発生していない。
- ③ 流動比率は、類似団体と比較すると大きくなっている。これは、今年度施設の一部を廃止し、公共下水道に統合したためである。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、昨年度と比べ減少しているのは、施設の一部を廃止し、公共下水道に統合したためである。
- ⑤ 経費回収率は、毎年大きく変わらない。不足分を一般会計からの補助金で賅っている。
- ⑥ 汚水処理原価が類似団体と比較すると高くなっている要因は、処理場等の維持管理費が高くなっているためである。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体と比較すると高く推移している。
- ⑧ 水洗化率は、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率が大きく上昇した要因は、今年度施設の一部を廃止し、公共下水道に統合したため、比較的償却率の低い施設が減少したことによるものである。
- ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠が無いため、発生していない。
- ③ 管渠改善率は、老朽化した管渠が無いため、発生していない。

全体総括

水洗化率が100%となっているにも関わらず、経費回収率は、40%となっている。そのため、一般会計からの補助金で不足分を賅っている。その要因の一つは、汚水処理場の維持管理費が大きいことが挙げられる。

今後の大規模改修等を考慮し、施設の統合を図っており、今年度は一つを廃止し、30年度に残りの一つを廃止し、公共下水道に接続する予定となっている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。